

# げんき通信

## やけどのおはなし

火傷(やけど)とは、熱による皮膚の損傷のことであり、医学的には熱傷(ねっしょい)と呼ばれます。やけどの原因としては熱湯が最も多く、暖房器具やアイロン、たばこなども注意が必要です。また、幼児が食卓の上の熱い飲物や汁物に手を入れてしまうケースもあふれています。

やけどはその深さから1度、2度、3度の3つに分類されます。

**[1度]**日焼けなどの表皮のみ損傷したもので、ヒリヒリとした軽度の痛みを伴うことが多く、4〜5日以内に全治する。

**[2度]**真皮まで損傷して、水ぶくれができる。10日〜約1カ月の治療期間が必要。

**[3度]**かなりの深さまで達したもので、痛覚が失われて痛みをあまり感じなくなる。

やけどは発生直後の応急処置が症状の程度を左右します。やけどの治療では、炎症を抑えることと感染予防がポイントです。まず、第一の応急処置は、やけどの部分を手を冷やすことです。やけどをすると慌ててしまい、そのまますぐに病院へ行く方もい



やけどをしない、させないという予防の心構えを常日頃から持ちましょうね。



《北茂安店薬剤師/よしとみ》

るようですが、まずはできるだけ早く流水で10〜15分間冷やしてください。服を着ている部分であれば、服の上から水をかけます。その後に、患部を氷などで冷やしながら、急いで病院に向かってください。水ぶくれが破れてしまうと、菌などに感染する可能性があります。できるだけ水ぶくれをこわさないよう注意しましょう。軽いと思った時でも、抗生物質入りの軟膏(市販品でも)を使っておく方が安心です。

### 低温やけどにも注意を...

低温やけどとは、体温より少し高め、温かくて快適と感じるぐらいの温度に長時間触れていた場合に起こるもので、湯たんぽ、こたつ、カイロなどの暖房グッズが原因となることが多いようです。低温やけどは軽症

に見えても、意外と皮膚の深いところまで届いている場合があります。一般的なやけどと比べて痛みが少なく気づきにくいいため、知らないうちに進行していることがあります。予防のためにも、暖房グッズの取扱説明書をよく読み、使用方法を守ってください。貼るタイプのカイロは必ず衣服の上に貼り、湯たんぽは専用のカバーに入れて、直接肌に触れないようにしましょう。電気毛布は就寝前に布団を温めておき、タイマーを利用して一晩中使用することのないようにしてください。

やけど対策で最も重要なことは、やけどをしない、やけどをさせないという予防の心構えを常日頃から持つことです。やかんや鍋など熱い物を運ぶ時は周囲に人がいないか確認し、こどもの手の届かない場所に置いてください。ストーブやファンヒーターの周りを柵で囲つのもいい方法です。生活環境を改善して、やけどを未然に防ぎましょう。

### C O L U M N

#### げんきコラム

#### 乾燥対策始めてますか?



乾燥による肌のかゆみが気になる季節ですね。いったんかき始めると止まらなくなり、かきむしってしまうと傷ついた皮膚はますます刺激をうけやすくなって...という悪循環になります。かゆみが出る前に、まず保湿クリームで予防しましょう。入浴後と朝の着替えの時に使えば、かなり効果的です。べたつきやにおいが気にならず、しっとり感はしっかり、そんなお勧め品があります。ご相談ください。

処方せんはぜんぶ「くぼ薬局」におまかせください



すべての病院・医院の処方せんを受けつけ責任を持って調剤いたします。

ご家族みなさんのかかりつけ薬局としてご利用ください

あなたのまちのくすり箱

# くぼ薬局

● 県庁通り店 ☎23-4550

● 中町店 ☎26-2817

● 木原店 ☎24-2233

● 中の小路店 ☎24-2882

● 西与賀店 ☎22-2311

● 医大通り店 ☎32-1133

● 北茂安店 ☎0942-89-1777